

平成30年度 薬用作物の産地化に向けた地域説明会および相談会
九州・沖縄地域

産地化取組事例 紹介

あさぎり薬草合同会社

2018年11月22日

【内容】

1. 地域の概況
2. 取組のきっかけ
3. 取組の様子
4. 今後の展望

1. 地域の現況

球磨・人吉地域とは？

【地理、人口】

- ・ 周囲を九州山脈南部の山々に囲まれた盆地である
 - ・ 熊本県の南東部に位置
 - ・ 1市（人吉市）
 - ・ 4町（あさぎり町、多良木町、錦町、湯前町）
 - ・ 5村（山江村、相良村、球磨村、五木村、水上村）
- 10市町村合計人口8.9万人



【歴史】

- ・ 鎌倉時代から明治維新まで相良藩として存続、700年に亘る歴史文化が、2015年4月に最初の日本遺産認定

【名産】

- ・ 日本三急流の球磨川の尺アユ、川下り、球磨焼酎が有名



2. 取組のきっかけ

町行政のリーダーシップが全てのはじまり



どういふことか・・・

2007年当時 あさぎり町の課題

- ① 高い農業生産技術を持っているが、
特徴的な生産物が少ない
- ② 高齢者が軽作業で栽培できる農作物が少ない
従来の作物：メロン、葉たばこ、い草など
- ③ 獣害（鹿・猪・猿）による農作物の被害が拡大

課題解決の一手として・・・



2007年10月

企業誘致プロジェクトによる企業誘致活動を展開



**日本国内で薬草原料を拡大しようとしていた
漢方メーカーの動きをキャッチ**



漢方メーカーお客様センターへメールで問い合わせ



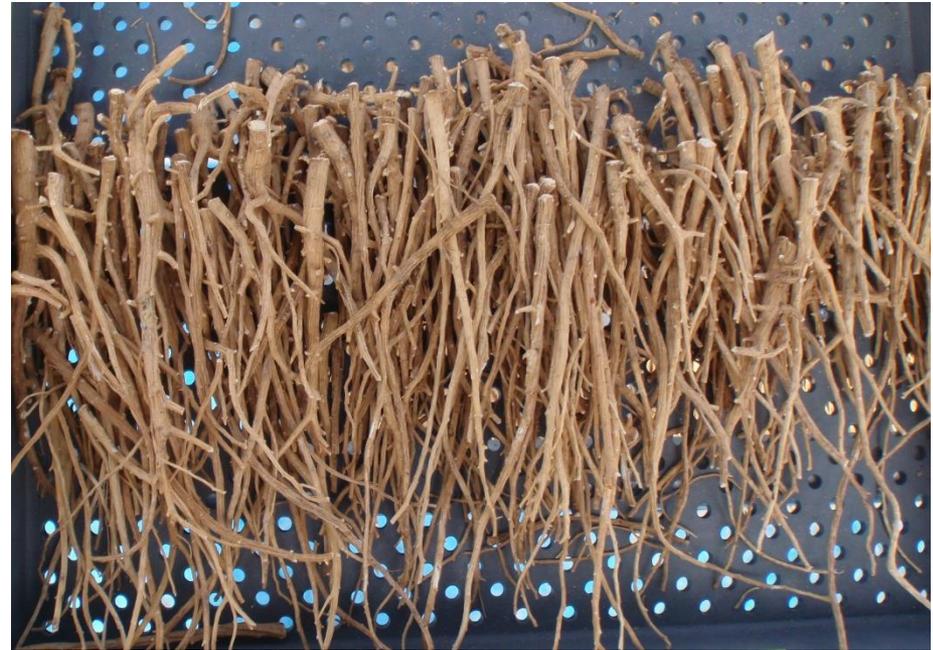
原料調達部門との面談を経て、試験栽培への合意



試験栽培へ・・・

生産している生薬：サイコ

ミシマサイコ (*Bupleurum falcatum* Linné (*Umbelliferae*)) の根を
乾燥させたもの



3. 取組の様子

【あさぎり町】

新規取組者への補助を準備



【漢方メーカー】

- ①品目選定（ミシマサイコ）
- ②既存生産団体への研修実施
- ③栽培指導



結果、

新規生産者 5 名が

試験栽培を開始（作付け0.5ha）

しかし、



●【農薬の課題】

ミシマサイコはマイナー作物 (薬用作物全般に言えること)
使用農薬が限定される (除草剤も当然ながら)
発芽も遅く、雑草が繁茂してしまう

●【機械化の課題】

専用機械は皆無。
漢方メーカーからの貸与機械も取組初期は少なかった。

●【栽培上の課題】

そもそもどういった生育をするのか、どういった収穫をするのかも分からない。
自分たちで”**まずやってみる**”しかなかった。

⇒ 5名中、製品まで生産できたのは **1名のみ**

サイコは手間がかかる・・・

しかし、ここで辞めるわけにはいかない。

「アイデア」と「テスト」が功を奏す



葉タバコやゴボウ等から
↓
マルチ栽培技術の活用



**除草の
省力化に成功！**

約10年間で、急成長を遂げる！

栽培面積の推移



成功要因 は？

1. 地域単位での 生産者同士の協力 (団体での取組・相互支援)



2. 強力な行政支援



3. 漢方メーカーの支援 (実需者との密な連携)



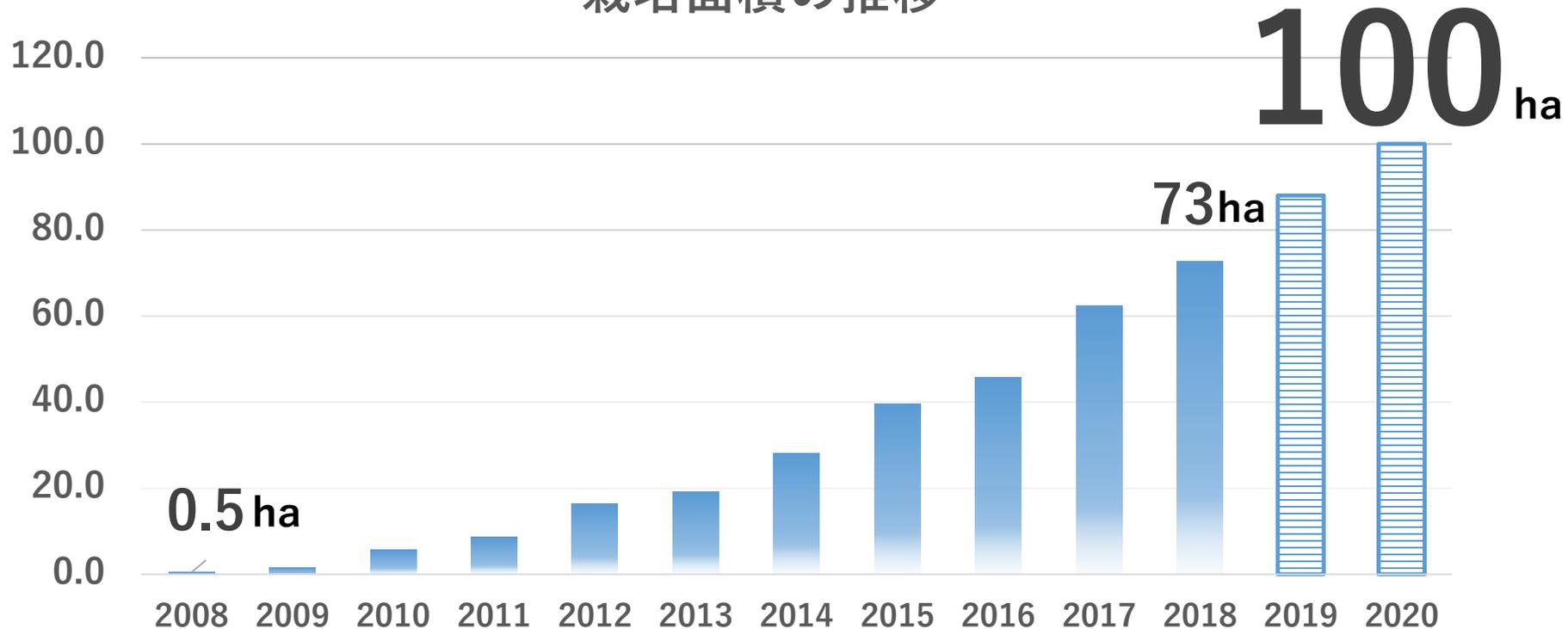
4. 今後の展望

重要課題への対応

⇒ 合同会社がリードする

課題	内容
生産費用の 圧縮	共通作業の機械化 農福連携の模索
革新への投資	I T 活用の模索 (情報連携の促進・情報の蓄積)

栽培面積の推移



2020年 栽培面積100ha

— 球磨・人吉地域の繁栄の一助となる —

ご清聴ありがとうございました

